

Friday, 7 October, 2016

No.3

Back from Yeppoon

訪問交流を終えて

ウルスラ校との訪問交流を終え、みんなそれぞれの日常に戻ってきました。色々な経験をした夏が終わり、新しい季節に入ろうとしています。

ウルスラ校のあるヤプーン(Yeppoon)はグレートバリアリーフの南端にあり、美しいビーチや豊かな自然に恵まれた美しい街です。彼女たちはそこで現地の生徒と同じ授業や文化交流クラスを受講し、週末はホストファミリーに日本食をふるまったり、ビーチでボートに乗ったり、またパーティーに参加したりと、充実した楽しい時間を過ごしたようです。日本語の使えない環境でも、懸命に自分を「表現」し、相手を「理解」しようと奮闘した時間でもあったのではないのでしょうか。

H1の上田七海さんがレポートジャーナルを寄稿してくれました。ここに紹介します。

私は今回の訪問交流で多くのことを学びました。もちろん一緒に行ったメンバーもそうだと思います。その中で改めて重要だと思ったのは『伝える』ということです。おそらく私たちは『伝える』という行為にここまで苦労したことはなかったでしょう。しかしオーストラリアでは言語が違う為、相手にどう伝えるか?と考える瞬間が訪問中、何度も何度もありました。もちろん、その方法は一つではないので、ホストファミリーとお互いに工夫をして『伝え合う』ということをするにしました。そうした試みと会話を重ねていくうちに、お互いの間につながりと呼べるものができ始めていきました。

人と人とのつながりは自分から、そしてお互いに『伝える』ということが基礎になっていることを改めて実感し、理解する夏になりました。

H1-1 上田 七海



—THOUGHTS OF THE DAY—

10月3日ノーベル医学・生理学賞に
東京工業大学栄養教授の大隅良典さんが
受賞されました。

今回は過去の受賞者が残した言葉を紹介します。

湯川 秀樹

「アイデアの秘訣は執念である」

「真実は、いつも少数派」

UNESCO SCHOOL

交流会に参加します

平安女学院中学校・高等学校をはじめ、京都の6校の学校がユネスコスクールに認定されています。

11月5日(土)世界遺産に登録されている上賀茂神社にそれぞれの学校の生徒が集い、各校の特徴を紹介しながら親睦を深める初めてのイベントが開催されます。

テーマは「温故知新」。20年に1度行われる式年遷宮からヒントを得て、未来に残したい・伝えたい「日本・京都の良さ」を高校生の視点から考えていきます。



☆告知☆

新大宮商店街主催
ハロウィーンパレード 参加者募集
仮装パレードに参加しよう

10月29日(土) 2:00pm

国際理解部 伊東まで申込んで下さい
(交通費支給 あり)

